

## 細江カトリック教会だより 9月号

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

広島教区テーマ；平和の使徒となろう

チャレンジ 新しい福音宣教 ～わたしをお使いください～

—家庭へのチャレンジ—

### 世界青年大会 クラクフ大会

第31回世界青年大会(WYD 2016)が、2016年7月26日から31日にかけてポーランドでのクラクフで行われました。180各国から250万人を超える若者たちが一つに集まった大会は、祈りと分かち合いの貴重な時間となったと同時に、様々な文化交流の場でもありました。毎回WYDはその時の教皇によって選ばれた一つのテーマに基づいて行われるのですが、今回のテーマとして教皇フランシスコが選んだのは「憐れみ深い人々は、幸いである。その人たちは憐れみを受ける」(マタイ5:7)という聖書箇所でした。クラクフの町から13キロほど離れた「いつくしみの野原(Campus Misericordiae)」と名づけられた広大な敷地で行われたWYD閉会ミサでは、教皇フランシスコは次のように述べました。「神の記憶により頼んでください。主の記憶は、私たちのデータ全てを書き込み保存する“ハードディスク”ではなく、共感にあふれる優しい心で、あらゆる悪を跡形なく消し去ることに大きな喜びを感じるのです。」

一般にワールドユースデー(WYD)と呼ばれているこの大会は、国連が1985年を「国際青年年」と定めたことを受け、教皇ヨハネ・パウロ二世が、前年1984年「あがないの特別聖年」の閉会ミサで、青年たちにローマへと集うように呼びかけたことにはじまります。ひとつの信仰を持つ青年

たちが世界中から集い、出会いを喜ぶ祭典としての要素だけではなく、回心に始まり、キリストの受難と復活の神秘を祝う巡礼の旅でもあるのです。また教会と社会にとってWYDは、若者に目を向け、将来を担う若者に信頼と希望を置くことの大切さを確認するきっかけになるのです。

(WYDクラクフ公式HP)より

一週間続いたWYDクラクフ大会は7月31日に行われたWYD閉会ミサで幕を閉じましたが、教皇フランシスコは青年たちに向けて、クラクフへの巡礼の旅で始まった道を歩み続け、神の愛の記憶を他の人たちにももたらすようにと促しました。ポーランドの保守政権は、欧州連合(EU)に

よる難民受け入れの割り当てに応じない姿勢を示していますが、教皇は7月28日の青年たちとの教皇歓迎式典や翌29日の「十字架の道行」など、ポーランド訪問中に何度も、移住者と難民の受け入れを強く呼びかけたことは印象的でした。閉会ミサにおいて次回

のWYD大会は2019年に中米パナマで開催されることも発表されました。

今回の大会では下関天使幼稚園と山口天使幼稚園から合わせて5人の若い先生方が参加し、日本全国から大学生や社会人をふくめ140人の若者が参加しました。日本の5人の司教様を含め、全世界から500人の司教様と15000人の司祭が教皇フランシスコと共にささげた最後の派遣ミサに参



加できたことは、一生の思い出になるだろうと語っていた外国の若者たちもいました。日本から参加された幼稚園の先生方によると、「行く前は祈りや神様のことはあまり知らなかったけど、参加するだけで心が穏やかになり、人生観が変わるような貴重な経験だった」ということでした。また「このような体験は日本じゃ絶対できない」と感じた人もいれば、「全然知らない国の人々とも言葉や文化の限界を超えて交流できてとても楽しかった」という感想もありました。参加者全員は忙しい毎日が続く幼稚園の仕事から少し離れて、このような世界大会に参加できるように様々な面で支えてくださったほかの先生方にも、心から感謝しています。WYDクラクフ大会を通して神様からいただいた様々な恵みを周りの人々にも伝えていくことができるように、一人ひとりのために祈りたいと思います。

ジェームス・ボニー神父



日本巡礼団のヨセフ 高見 三明  
大司教様と共に。

## 司祭館に新しい住人！

・・・トアンさんの紹介・・・

イエズス会の神学生グエン・ヴァン・トアン（通称トアン）さんが、2016年9月から

2018年3月まで、細江で宣教と司牧の実習をします。1982年ベトナム北部の生まれで、4人兄弟の末っ子。ベトナムで修練と哲学の勉強を終え、2013年に来日、日本語の勉強をしてきました。細江では、午前中は幼稚園のクラス補助の仕事、午後は細江と彦島の教会のお手伝い(病人訪問、葬儀、若者のための活動)に従事します。サッカーが大好き。お料理も上手なので、

司祭の共同体は大助かりです。どうぞよい実習期間を過ごせるように、皆で応援してください。

百瀬 文晃 神父



グエン・ヴァン・トアンです。

どうぞ、よろしく  
お願いします！

## シリーズ 地区だより IV

### 家庭へのチャレンジ

—幼い鉛筆—

幼い時、プロテスタント系の幼稚園に通ってました。家のすぐ近くの公立幼稚園が満員だったため、親はやむなくそこを選んだのです。私は今でも、その幼稚園でクリスマスに演じた聖劇を覚えています。

園児たちは、もちろん私も、大きな風呂敷を何枚も使ってベツレヘムのユダヤ人に扮しました。私は宿屋の主人。セリフは一言、「馬小屋が空いています。そこで良いならどうぞ」

そして40余年後に受洗。ラフォント神父に洗礼を受けたいと相談した時にも、この聖劇の思い出を語りました。

それからは、神父は私を見るとニコニコとうれしそうに、「ミツイサンは宿屋の主人」とよく声をかけられました。でも、そのころはジョーク位にしか思いませんでした。

しかし、ラフォント神父は、なぜ私が幼い時の聖劇のことをずっと覚えているのか、それはあの聖劇でそのセリフを発した時からすでに神様の恵みと導きが始まっていたからだ、と伝えたかったのではと今は思っています。

マザー・テレサの「私は神の手のなかの小さな鉛筆。書くのは神様ご自身」という言葉を借りるなら、私は幼い鉛筆であったが、神様はあの時すでに恵みと導きを書かれていたのです。

後田地区 三井 正憲

## Summer・Teaching・Program

8/1～8/8 教会ホール

## 上智大学 STP へ訪問



\* ホールで授業の様子。

今年で48回目を迎える上智大学 STP へ最終日の8月8日に訪問しました。STP 下関代表の小沢勇介さんにインタビューし、今年は小学4年生から中学2年生の子供たちが50名集まったそうです。同大リーダーは11名(内5名は初めて)で、都会の子供たちよりも参加した子供たちがとっても元気よく、自分たちも猛暑にめげず頑張れたのは、きっと子供たちの元気と楽しさをもらったからでしょうと嬉しそうに話されていました。

宿泊は労働教育センターでリニューアルされて気持ちよく過ごせましたと、感謝されていましたが、食事は自炊で当番制で担当されたそうです。休日は唐戸市場に行ったりと美味しい下関の味を堪能したそうです。訪問した時も教会ホールで英語のクイズをされていたのですが、みんな楽しそうで熱中症にならないようにと、信徒会からスイカ2俵を差し入れました。同大のリーダー達(11名中10名)はその夜の関釜フェリーで韓国に研修旅行に出発されるそうで、また楽しい旅行になればとお祈りいたしました。

大住 昭夫

## 投稿

\*夏の夜、ナースコールの響きおり  
夜間看護師に感謝の祈り

\*耳なえし母と話をしたとき  
片方の耳 我のと替えたい

藤本幸枝さんの短歌 8月8日

## 平和の祈りの集い 8/7(日)

サビエル上陸記念碑前



今年初めて参加した海の星幼稚園児たちは、記念碑の前に平和への祈りを込めて、花を捧げ、天使の歌声を披露してくれました。

また三教会の共同祈願で、東日本大震災者と熊本地震被災者・世界で苦しんでいる人・放射能被害で苦しんでいる人のために・・・「神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください」と、参加者全員で祈りを捧げました。

\*「ざわわ ざわわ ざわわ・・・」と、さとうきび畑は  
風が通りぬける・・・夏の陽ざしのなかで…………

山本シスターの静かな、穏やかに響く歌声を聴き、また一段と強く平和への思いが漂い、ゆっくりとした時間が流れました。



## 馬関祭り「愛の広場」にて 8/20(土)

下関ブロックで出店



\*彦島教会はチヂミと飲み物の店。ちびっ子

たちも元気にお手伝い。



\*細江教会は焼き鳥の販売。  
唯一の若者に交じて中年も煙にもまれながら頑張っていました。



\*長府教会の皆さんは友愛セールを。  
売れ行きはいかが？

「愛の広場は、障害施設にいる方々も活躍していました。この日の売上はすべて愛の献金になります。」

## 教会学校 お泊り会 8/21~22



\*彦島教会でミサ。信者でない教会学校の子供たちが多いのですが、祈りの姿に感心しました。

今回は“よきサマリア人になろう”というテーマのもとに、細江3人、長府15人の子供たちが参加し、去年と同様に彦島教会で開催しました。

皆でミサに与り、夕食のカレーを食べ、車に分乗して、イザ！銭湯へ出発！少しの間、ゆっくりしましようと思った矢

先、銭湯は本日休業という知らせが入った。えっ！どうする？・・・仕方がない、教会のお風呂でシャワーにするか??・・・女の子は5人ずつ、男の子は4人ずつで・・・それはそれで、子どもたちは楽しかった様子でした。お風呂の後は近くの公園で花火。



夕の祈りをして、一日目が終了。細江の3人は、初めての参加なのでとても不安そうでしたが、お風呂に入るところには、元気な笑顔になったので、ホッとしました。

ポニー神父さまのお話し（本当の友だちはだあれ?）・・・ユニークな登場人物（イスラエルくん、サマリアくん、金だせくん、知らんぷりくん①、知らんぷりくん②）を聞いて、二日目の活動を始めました。

ひとり、ひとりお祈りを考えたり、すいか割り、宝探しと楽しい時間を過ごして、お別れの時間になりました。

お母さんたちが迎えに来て「まだ、遊んでいい?」と、別れがたい様子!

たくさんの方々の支えで、無事お泊り会を終えることができました。ありがとうございました。

リーダー代表 真浦 美千代

## ご案内

### キリスト教入門 秋講座

9月17日(土) 10:30 始まります!

\*9/17、24 \*10/1、22、29

\*11/5、12、19、26 \*12/3、17

問合せ；細江カトリック教会  
083-222-2294



## 編集後記

今年の夏は酷暑でしたので、水分補給に気をつかいました。

教会の花や樹木も潤いの水が必要です。補ってくださった方々、剪定してくださった方に感謝です。教会の周りに気を配ることへも・・・祈りと神さまへの奉仕に繋がります。秋になり過ごしやすくなりますが季節の変

